

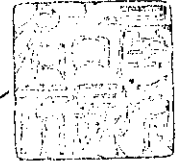
行政文書公開決定通知書

3 観名保第 137 号
令和 3 年 11 月 9 日

名古屋市民オンブズマン
代表 滝田 誠一 様

実施機関

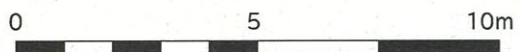
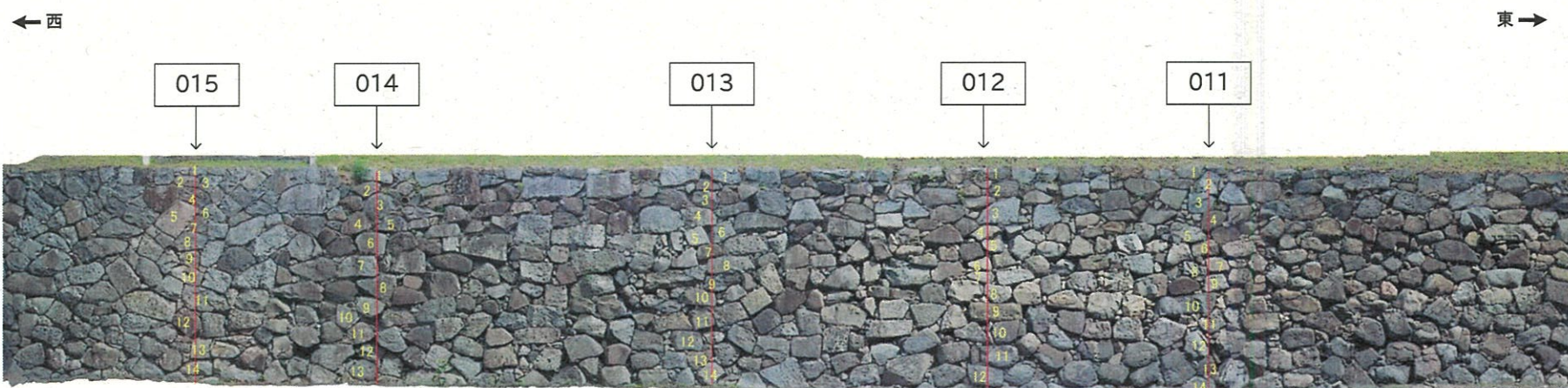
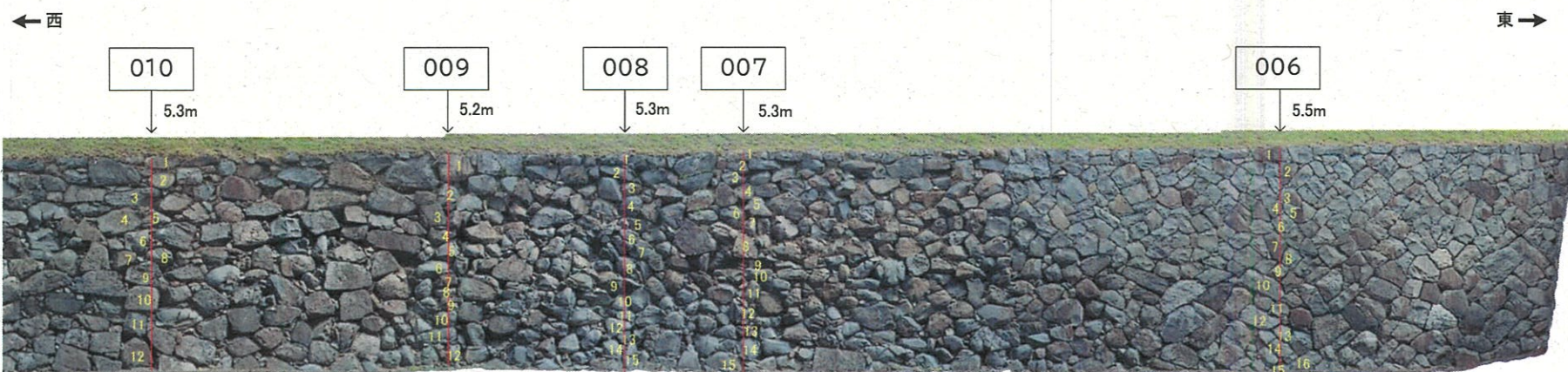
名古屋市長 河村 たかし



令和3年11月2日付けで請求のあった行政文書の公開については、名古屋市情報公開条例第10条第1項の規定により、次のとおり公開することと決定しましたので通知します。

行政文書の名称	議題(2) 御深井丸側内堀石垣の調査について (スクリーン投影資料)		
行政文書の公開の日時及び場所	日時	令和 3 年 11 月 9 日	午前 10 時 以降 午後
	場所	市民情報センター (市役所西庁舎 1階)	
行政文書の公開の方法	1 閲覧 ② 写しの交付 3 視聴		
備考	<決定を行った所管課・公所> 観光文化交流局名古屋城総合事務所保存整備室 TEL 052-231-2488		

注 行政文書の公開を受ける際には、この通知書を提示してください。



凡例

— : レーダー探査測線 (連続測定)

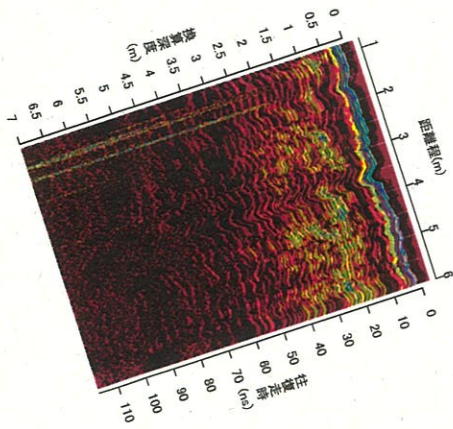
数字 : 築石控え長計測 (連続測定)

U65 測線(連続)探査成果

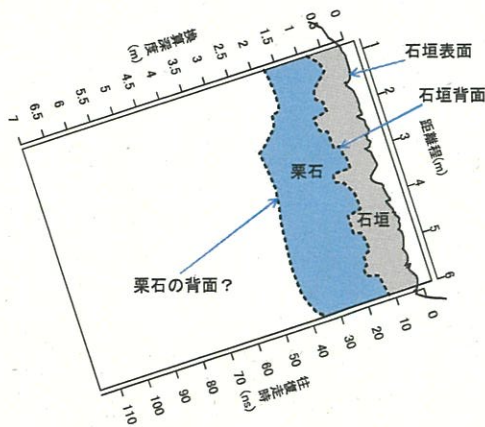
速報版 検討中



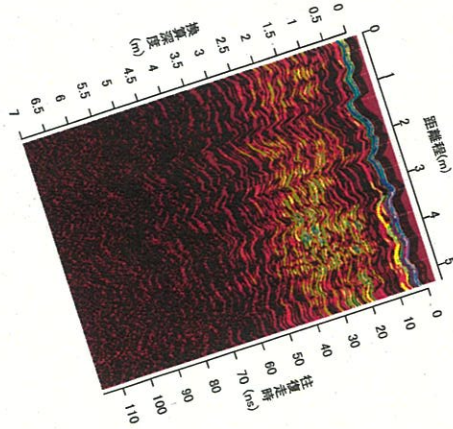
《009測線の測定記録》



《解釈結果》



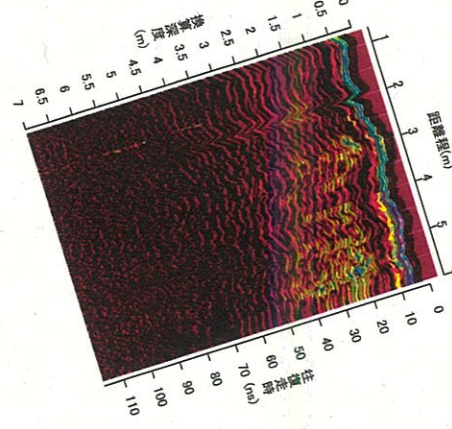
《008測線の測定記録》



《解釈結果》



《007測線の測定記録》



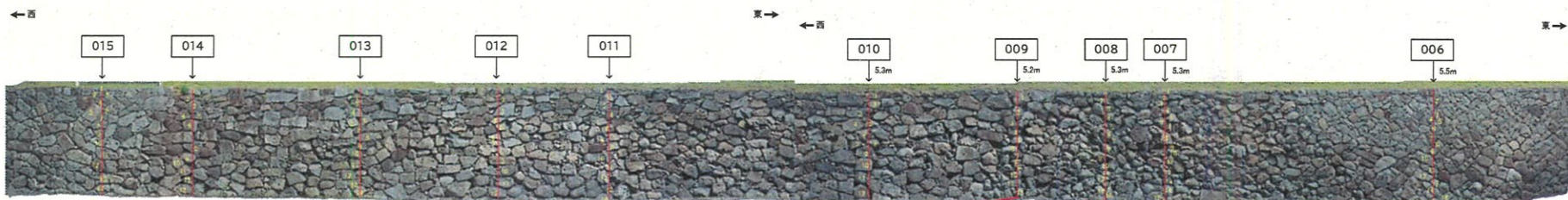
《解釈結果》



縮尺 縦=1:100、横=1:100

U65 築石控え長探查成果

速報版 検討中



009		
築石番号	面積(m ²)	控え長(cm)
1	0.49	0.55
2	0.23	0.73
3	0.33	0.93
4	0.24	0.76
5	0.24	0.55
6	0.27	0.69
7	0.16	0.59
8	0.11	0.72
9	0.15	0.65
10	0.20	0.69
11	0.39	0.49
12	0.17	0.59
平均	0.25	0.66

008		
築石番号	面積(m ²)	控え長(m)
1	0.07	0.50
2	0.22	0.43
3	0.12	0.60
4	0.22	0.66
5	0.17	0.60
6	0.14	0.51
7	0.16	0.50
8	0.17	0.86
9	0.28	0.82
10	0.15	0.71
11	0.10	0.62
12	0.21	0.62
13	0.08	0.87
14	0.20	0.72
15	0.15	0.68
平均	0.16	0.65

007		
築石番号	面積(m ²)	控え長(m)
1	0.07	0.40
2	0.12	0.55
3	0.15	0.69
4	0.15	0.56
5	0.21	0.60
6	0.32	0.64
7	0.11	0.27
8	0.28	0.41
9	0.04	0.55
10	0.19	0.71
11	0.17	0.77
12	0.26	0.84
13	0.09	0.96
14	0.30	0.63
15	0.36	0.62
平均	0.19	0.61

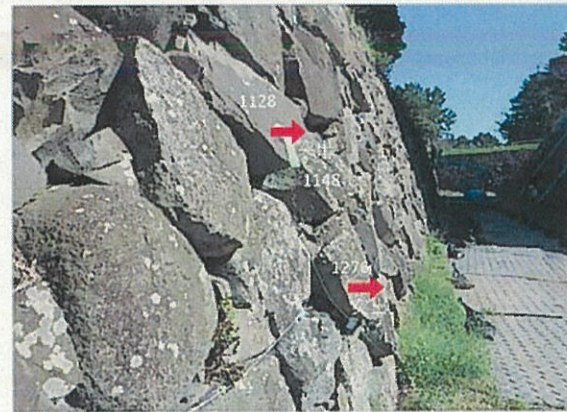
名古屋城天守台石垣保全について
 III-6区画 U65西側石垣調査:面的に孕みだしがあり、胴込め栗石と間詰が多く抜けている。



【現況写真】

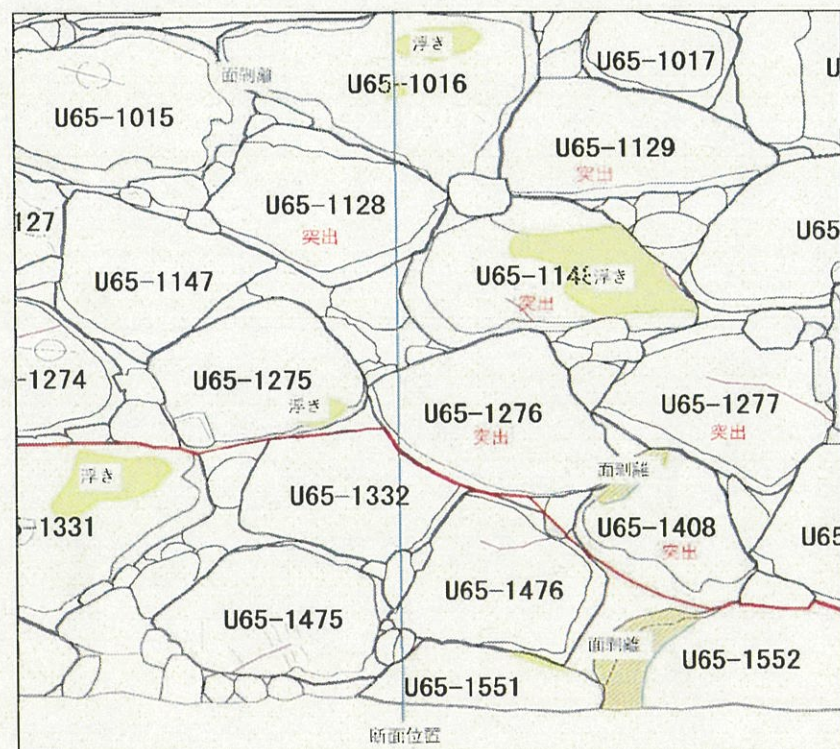


正面状況



西側より

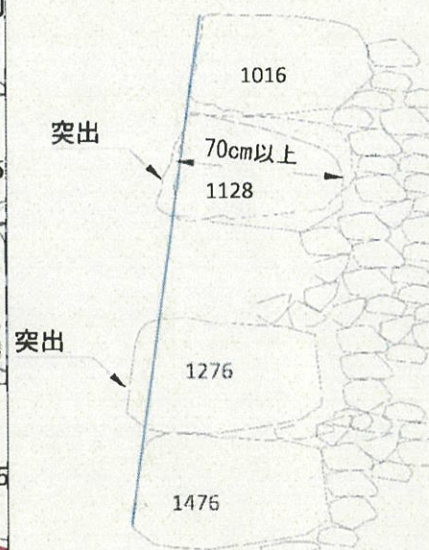
【現況状況(立面)】



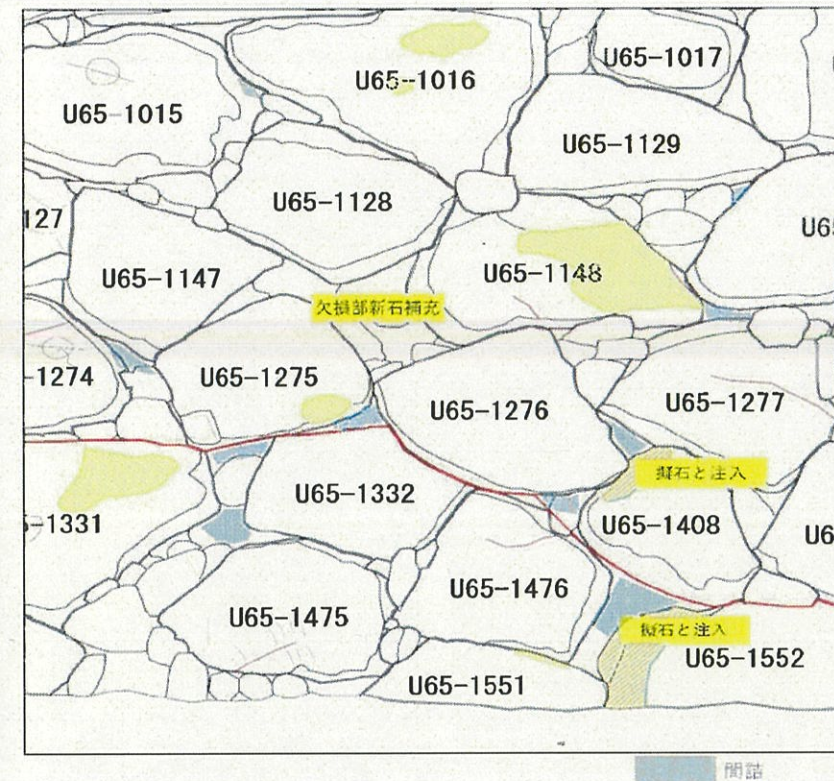
【損傷状況】

- ・1128石材の下部が抜け落ち、石材が突出した状態で、周囲に孕みだしが見られる。
- ・1552石材は上部1408石材が突出し左側に亀裂と剥離がみられる。
- ・突出石材が多く(1128, 1129, 1148, 1276, 1277, 1408)。突出部付近での間詰石の抜けがみられる。

【現況状況(想定断面)】

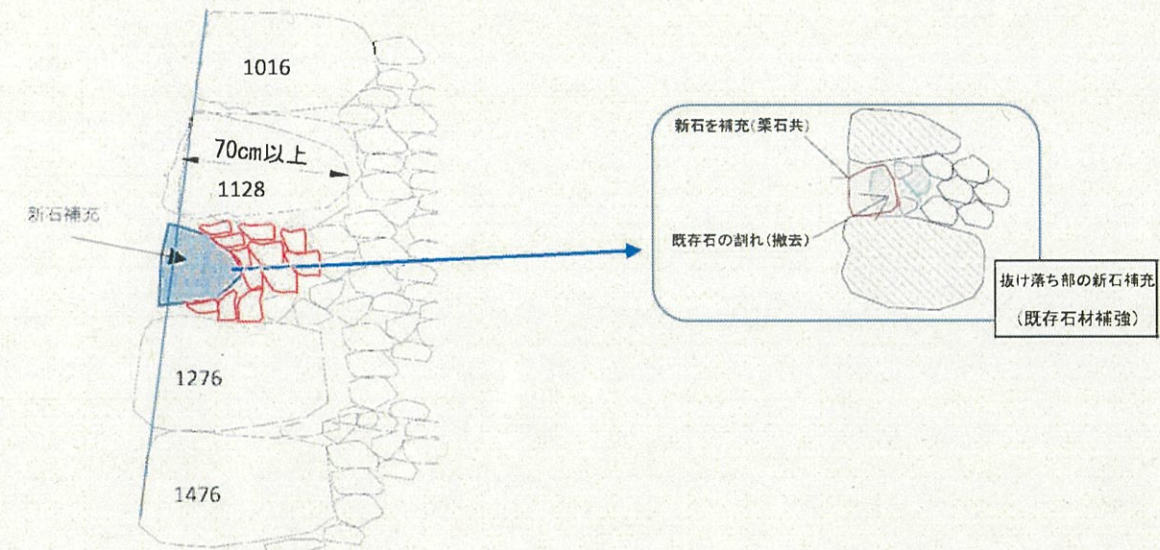


【想定される補修方法(案)】(立面)



- ・1128石材下部では新石補充の検討が必要と考えます。
- ・1408石材等の亀裂部への注入処理、表面部は撥水処理(エポキシ樹脂+石膏)で亀裂を埋めるが必要と考えます。
- ・石材間の空隙部は、間詰補充を提案します。

【想定される補修方法(案)】(断面)



名古屋城天守台石垣保全について
 III-26区画 U65東側石垣調査: 被熱で劣化した石材も多く、特に砂岩が密集している。



西側調査箇所

東側調査箇所

【現況写真】

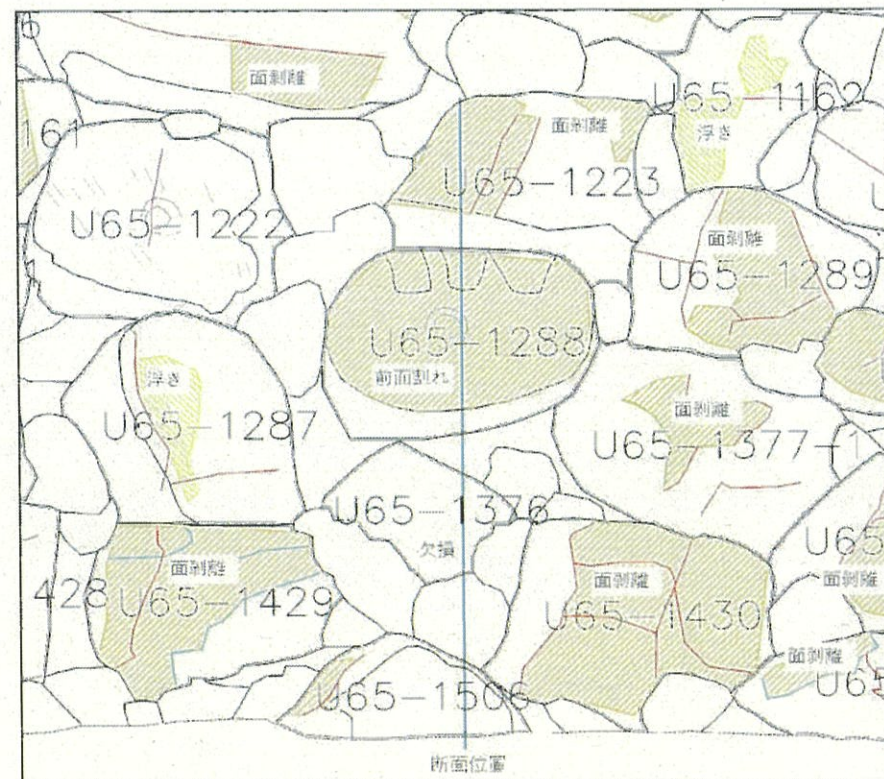


正面状況



東面より

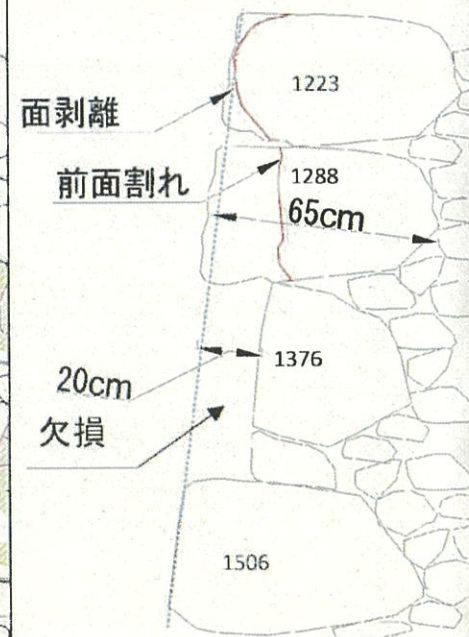
【現況状況(立面)】



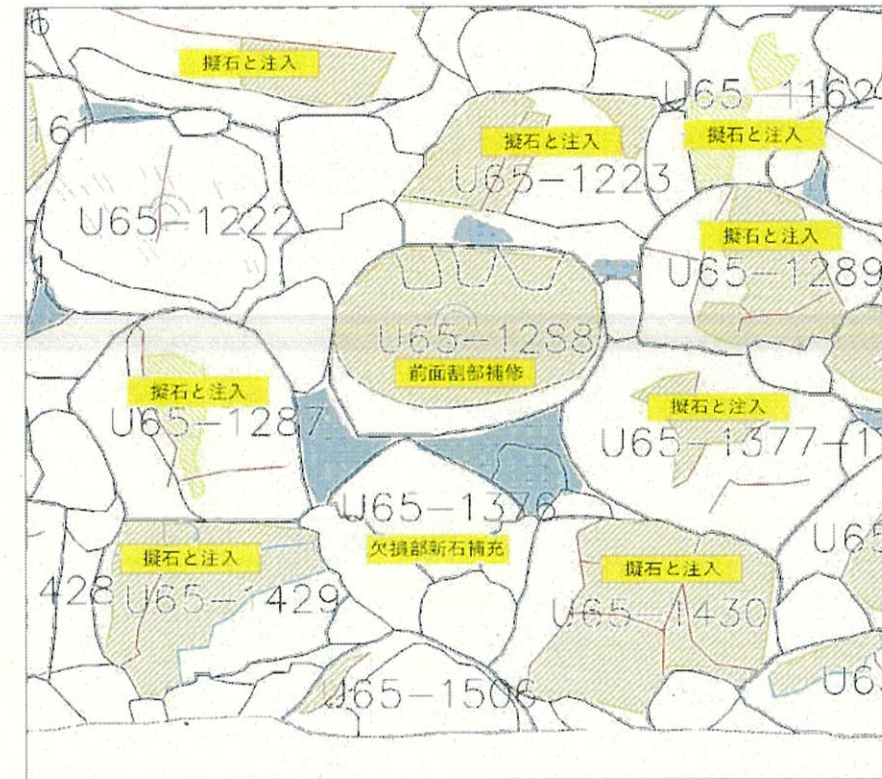
【損傷状況】

- ・1376石材の表面が欠損し、1288石材が突出した状態。
- ・1288石材は刻印がある。表面から20cm程度で割れが見られる。
- ・1233石材は被熱による表面の損傷が見られる。

【現況状況(想定断面)】



【想定される補修方法(案)】(立面)



- ・1223石材等の亀裂部への注入処理、表面部は擬石処理(エポキシ樹脂+石粉で亀裂を埋める)が必要と考えます。
- ・1288石材では前面割れが周囲でも多数ありピン補強の検討が必要と考えます。
- ・1376石材では新石補充の検討が必要と考えます。
- ・石材間の空部部は、間詰補強を提案します。

【想定される補修方法(案)】(断面)

